

かしま 議会だより

第81号

平成27年6月議会号

平成27年8月1日発行

発行/鹿島市議会 編集/議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



親子・家族連れでにぎわう中木庭ダム遊具広場

5月臨時会・6月定例会日程と議案……	2～3P
議案審議 ……………	4～5P
一般質問 ……………	6～9P
委員長報告・意見書 ……………	10P
就任あいさつ・議会運営委員会 ……………	11P
委員会構成 ……………	12P
議会運営等改革検討会・各種選出委員・議員 ……………	13P
議会あれこれ ……………	14P



鹿島市のイメージキャラクター
かし丸くん

五月臨時議会・六月定例会

五月臨時議会

平成27年 鹿島市議会
5月臨時議会 会期日程

1、会期

自 平成27年5月11日
至 平成27年5月13日

2、日程

【5月】

- 11日・開会
 - ・議長の選挙
 - ・副議長の選挙
 - ・議席の指定
 - ・会議録署名議員の指名
 - ・会期の決定
- 12日・常任委員の選任
 - ・議会運営委員の選任
 - ・杵藤地区広域市町村圏組合議会議員の選挙
 - ・鹿島・藤津地区衛生施設組合議会議員の選挙
 - ・佐賀県西部広域環境組合議会議員の選挙
 - ・佐賀県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙
- 13日・議案の一括上程
(市長の提案理由説明)
 - ・議案審議
 - ・質疑、討論、採決
 - ・閉会

議案

市長提案議案等

(1) 議案第22号 専決処分事項の承認について(鹿島)

市税条例等の一部を改正する条例)

- (2) 議案第23号 専決処分事項の承認について(鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
- (3) 議案第24号 専決処分事項の承認について(平成26年度鹿島市一般会計補正予算(第8号))
- (4) 議案第25号 平成27年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について
- (5) 議案第26号 財産の取得について
- (6) 議案第27号 財産の取得について
- (7) 議案第28号 鹿島市監査委員の選任について
- (8) 議案第29号 鹿島市固定資産評価員の選任について

六月定例会

平成27年 鹿島市議会

6月定例会 会期日程

1、会期

自 平成27年6月12日
至 平成27年6月30日

2、日程

【6月】

- 12日・開会
 - ・会議録署名議員の指名
 - ・会期の決定
 - ・議案の一括上程
 - ・市長の提案理由説明

	杉原元博	片瀨清次郎	樋口作二	中村和典	松田義太	中村一堯	稲富雅和	勝屋弘貞	角田一美	伊東茂	松本末治	徳村博紀	福井正	松尾征子	光武学	松尾勝利	採決結果	
																	賛成多数	原案承認
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	原案承認
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	原案承認
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案承認
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	原案可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	原案可決
	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案同意
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案同意

	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案承認
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	原案可決
	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成多数	採 択
	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成多数	原案可決

- 13日・休会
- 14日・休会
- 15日・休会（議案研究）
- 16日・休会（議案研究）
発言内容通告締切（正午）
- 17日・休会（議案研究）
- 18日・休会（議案研究）
- 19日・議案審議、質疑、
討論、採決
- 20日・休会
- 21日・休会
- 22日・常任委員会（請願1件）
- 23日・休会（議案整理）
- 24日・一般質問（3名）
- 25日・一般質問（3名）
- 26日・一般質問（2名）
- 27日・休会
- 28日・休会
- 29日・休会（議案整理）
- 30日・委員長報告、議案審議
・質疑、討論、採決
・閉会

議案

- 市長提案議案等
- (1) 報告第1号 平成26年度
鹿島市一般会計繰越明許
費繰越計算書について
 - (2) 報告第1号 平成26年度
鹿島市公共下水道事業特
別会計繰越明許費繰越計
算書について
 - (3) 報告第3号 平成27年度
鹿島市土地開発公社事業
計画について

- (4) 議案第30号 専決処分事
項の承認について（平成
27年度鹿島市国民健康保
険特別会計補正予算（第
1号））
- (5) 議案第31号 鹿島市行政
手続条例の一部を改正す
る条例について
- (6) 議案第32号 平成27年度
鹿島市一般会計補正予算
（第2号）について
- (7) 議案第33号 平成27年度
鹿島市公共下水道事業特
別会計補正予算（第1
号）について
- (8) 議案第34号 市道の路線
変更について
- (9) 議案第35号 市道の路線
認定について
- (10) 議案第36号 佐賀県市町
総合事務組合規約の変更
に係る協議について
- 議員提案議案等
- (11) 意見書第1号 教育予算
の拡充を求める意見書
（案）
- その他
- (12) 地方創生対策特別委員会
設置に関する動議
- (13) まちづくり推進構想対策
特別委員会設置に関する
動議
- (14) 請願第1号 教育予算の
拡充を求める意見書の採
択に関する請願

次のことを審議し決定しました

【5月臨時会】

議案第22号	専決処分事項の承認について（鹿島市税条例等の一部を改正する条例）
議案第23号	専決処分事項の承認について（鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）
議案第24号	専決処分事項の承認について（平成26年度鹿島市一般会計予算（第8号））
議案第25号	平成27年度鹿島市一般会計予算（第1号）
議案第26号	財産の取得について
議案第27号	財産の取得について
議案第28号	鹿島市監査委員の選任について
議案第29号	鹿島市固定資産評価員の選任について

【6月定例会】

議案第30号	専決処分事項の承認について（平成27年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算（第1号））
議案第31号	鹿島市行政手続条例の一部を改正する条例について
議案第32号	平成27年度鹿島市一般会計補正予算（第2号）について
議案第33号	平成27年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）について
議案第34号	市道の路線変更について
議案第35号	市道の路線認定について
議案第36号	佐賀県市町総合事務組合規約の変更に係る協議について
請願第1号	教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する請願
意見書第1号	教育予算の拡充を求める意見書（案）

【五月臨時会】

議案第26号

財産の取得について

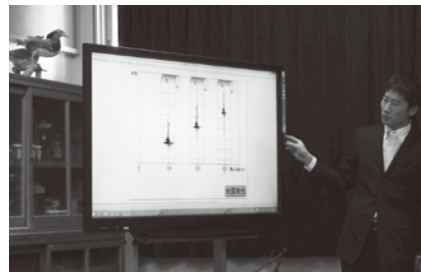
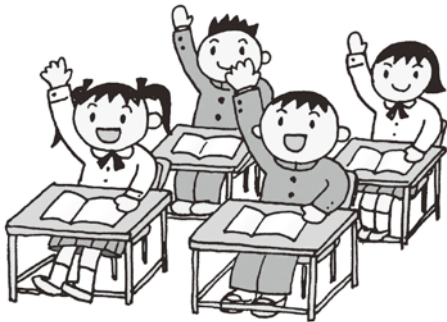


伊東 茂 議員

質問一 佐賀県先進的ICT利活用教育推進事業臨時交付金を活用し、平成26年・27年度で市内小中学校の普通教室及び特別支援教室に電子黒板

を整備する計画だが、昨年31台導入しての効果と今後の活用について。

答弁一 昨年導入後、研修会を行い、多くの教職員から自由に使えるように増やして欲しいと要望があり今年40台導入する。画面の拡大機能やインターネット接続、今後電子教科書の導入を予定し、子供達は電子黒板授



電子黒板を使った授業

業に興味を持つことができ、更なる効果が期待できる。

議案第32号

平成27年度 鹿島市一般会計補正予算(第2号)について

【六月定例会】



伊東 茂 議員

さが段階チャレンジ交付金について

質問一 佐賀県版地方創生として地域の維持や活性化を目指して住民が自ら考え実行する事業を対象にした交付金事業に市内20事業(事業費3500万円)が採択される。農工商振興、地域振興、環境、社会教育など事業内容は



中村 一堯 議員

さが段階チャレンジ交付金について

質問一 やる気のある団体や市民が街の活性化・地方創世のために自らが取り組むチャレンジ交付金は地域にとっ

幅広く興味深い。事業終了後、成果報告と今後鹿島市の戦略の鍵となるか検証してほしい。

答弁一 市内から52の事業の申請があり20事業の採択となる。県の主体事業だが今後の「まちづくり・人づくり」のヒントになる要素を含んでいると感じる。次に繋がる事業にしたい。

答弁一 団体や取り組みに対して、鹿島市も積極的に関わっていく。それによって、鹿島市が元気になり、鹿島市の将来を考えていくきっかけになれば良いと考えている。

この交付金は単年度でしか予算はついていないが、県でも継続性を持たせるような話も出ている。

議案第32号

コミュニティスクール制度の導入について



勝屋 弘貞 議員

質問一 国はすべての学校においてコミュニティスクール制度を取り入れる方向で進んでいるようだ。今回、鹿島小学校へ制度を導入するという事

だが、他の小中学校での導入等も含め、今後どのように進めていく考えか？

答弁一 3年間、明倫小学校をコミュニティスクールのモデル校として運営してきた。その経験を生かし、鹿島小学校においては2年間の研究期間を置き、その後本格的に進めていく。他の学校

についても各地域の状況を見ながら徐々に取り組んでいく予定である。



議案第34号・35号

市道(中川内・広平線)の路線変更及び路線認定について



角田 一美 議員

質問一 平成24年度〜30年度7カ年で道路改良計画が進められているが工事に未着手のまま3カ年

経過している。残り4カ年で完了できるのか、今後計画は！。

答弁一 今年度、議会議決後7月地元説明会、用地買収、9月から本年度工事104mに着手。橋脚工事を11月から着手したい。28年度橋梁上部工事と道路改良工事、29

30年度道路改良工事を施工して、未改良部分1.6kmを計画通り進めて参りたい。保安林の指定解除は全体を4回に分けて申請、27年度10筆、残りを28・29年度に指定を解除する。



●地方創生・さが段階チャレンジ交付金の主な事業

(単位:千円)

事業名	予算額	事業内容
若者の出会いと地域活性化を推進する婚活応援事業	2,772	「若者の出会いと地域活性化を推進する婚活応援事業」
干潟のある地域PR映像作成による地域の魅力再発見事業	1,710	「干潟のある地域PR映像作成による地域の魅力再発見」鹿島市の豊かな自然環境を映像にまとめる
田澤義舗に学ぶ地域の活力啓発事業	1,188	「田澤義舗に学ぶ地域の活力啓発事業」
有明海環境保全事業	2,097	「市民が考えるラムサール条約」生物観察会、勉強会などの開催
サフラン栽培実証事業	2,700	「サフラン栽培による中山間地区活性化」早の瀬地区をモデル実践地区としてサフランの栽培、販売、加工品の取組みを創出していく
観光農園確立事業	943	「地元農産物を活用した観光農園事業の確立による農村地域の活性化」
しいたけ学校活動事業	1,093	「平谷しいたけ学校」

一般質問

人口減少時代の鹿島市の対策は



福井 正議員

鹿島市の人口は、国勢調査の結果3万人を割りこんだとの報道があった。何もせずに推移したら、15年後に2万5千人、45年後に1万7千人に減少する予測がある。経済の停滞、税収の減少となり行政サービスが低下、商店街の消滅、大型店の撤退となり、人口減少に拍車がかかる可能性がある。それを防ぐ施策としての取り組みを質問した。

(安全で安心して暮らせる市)
質問一 交通安全対策と

農は27年3名である。

(結婚対策としての婚活イベントの状況)

質問三 最近結婚しない方が増加している。その要因の一つとして、異性との出会いの場が少ないこともある。婚活イベントの実施状況は。

して、以前質問したハローワーク前の市道整備の状況は。また中心市街地の水が流れていない水路対策は。

質問二 市道整備はまず27年度9月～12月まで交通量等の調査、その後28年度に設計その後施工となる予定。水路は、水量の確保が必要。頭首口管理など地元理解が必要でまだ進んでいない。

(就業できる場の確保)
質問二 転入を促すにはまず就業できる場が必要だが、現在の状況は。

質問二 25年度であるが、新規就業4901名就業された。仕事はあると思われる。8件の方が新規創業出展された。新規就

市民の生活安定が優先



松尾 征子議員

質問一 市民会館の建て替えが発表になった。新築三階建て。大型ハコモノ事業が続き市の財政は借金漬けになる。市民会館の計画見直しを。

質問二 老朽化してほとんど通常の使い方は出来ない。手直しではかえって資金を要する。今のままで模様替えなら市の単独費用でやらなくてはならない。機能を変えたりすることのでかかなりの資金援助がある。

質問二 人口減少対策が大きな問題になっている。大型事業をいくらやっても人口が増える保障はない。おとなりの太良町では、学校給食の無料化をはじめ、中学校卒業祝金、誕生祝金、結婚祝金等福

イナスになるという危機感のもとにつくっている事業成功の為に商店主すべて一つになって

社優先の行政がはじまっている。今この地域でも人口減少対策は大きな課題である。大型事業から福祉優先の取り組みは時の流れである。鹿島市の今の取り組みでは人口は増えずに借金が増えるばかり。福祉優先で制度的なものに重点をおくべきだ。

質問二 まちの事情がちがう。老朽化が進んできた。今しないと市としての機能が果たせない。市民会館については大型で金がかかるからというものではない。これが出来なければ鹿島市はむしろマ

質問三 「鹿島市中心商店街地域活性化プロジェクト事業」として11月に中心商店街で「鹿島de屋台村イベント」を開催する。イベント告知HP作成、屋台用机、イスの購入として300万円計上されている。事業主体はどこか。

質問三 主体はコムシエルジュという任意団体。中心商店街で事業をしている若い経営者の集まりで実行委員会をつくっている。

今商店街としてくずれかけている時これまでがんばっている人もふくめて成功の為に取りくむことが今大事だと思ふ。



人口目標と人口減少対策



杉原 元博 議員

質問一 鹿島市は定住促進などの施策を実施しているが、転出者は増加傾向にあり、人口減少に歯止めを掛けられていない。都市部から地方へ移住する「田園回帰」が注目を集めている。今こそ地域資源を活用し、田舎暮らしの魅力を発信するべき。

答弁一 総合戦略に人口ビジョンの分析を検証し、人口減少に歯止めをかける施策を展開していきたい。

質問二 地域人口比1%増を目標に、地域の衰退を止めるための調査・施策を。

答弁二 市の出生率は全国平均より高い。生産年齢人口の割合を増加させる計画にしたい。

観光・商業施策、活性化について

質問三 昨年日本を訪れた外国人数は過去最多を更新。観光客呼び込むには地元の知恵と工夫が必要。「かしま観光戦略プラン」について、市内回遊の仕掛けづくり、観光客の滞在時間を増やす努力。近隣県・市町との連携及び相互の情報発信を。

答弁三 「着地型観光の充実」、「鹿島流おもてなし」、「情報発信の強化」の3つの戦略を立てて取り組んでいる。

質問四 地域特有の強みを生かした商業の推進を。

答弁四 個性的で魅力ある店舗の充実を図っている。中心商店街は公的機関や医療機関が集中。市民に利便性の高い商店街として推進。

スポーツへの取り組み、今後の誘致について

質問五 高齢化社会で益々医療・健康への関心が高まっている。健康増進に欠かせないスポーツ施設と利用状況について。

答弁五 主なスポーツ施設として陸上競技場、市民球場、グランドゴルフ場、北公園テニスコート、海岸センタープール、市民体育館、市民武道館などがあり、昨年の利用者は延べ約28万人。

質問六 スポーツに対する今後の取り組み、合宿誘致予定について。

答弁六 第六次総合計画素案にスポーツ人口拡大、合宿誘致等による交流人口拡大を施策の展開方向とし、これまで以上に力を入れる。



ラムサール条約登録の今後について



樋口 作二 議員

質問一 湿地の保護は、鹿島市のためにも重要であるが、市民の保護意識の高まりを図るために何をすべきか、また、新龍干潟以外の鹿島市の干潟の希少性はないのか、さらにこの貴重な干潟の保全・回復計画はないのか。

答弁一 ラムサール条約登録地となったが、直接的な効果はすぐにはおとずれない。しかし、地域のまともりや知名度アップ、さらには人と自然との共生といった波及的効果が見込まれる。今後ラムサール条約推進実行委員会を通じて、研究会や観察会を開催し、干潟保護の意義を広めていきたい。

また、新龍以外の鹿島

食をとっているが、毎朝ご飯を食べるわけではない。成人では、子供より少なく、特に二十代後半は食べない人が多い。鹿島の伝統食については特にまとめられたものはないが、鹿島の歴史をまとめた書物での紹介例がある。ミネラル不足の実態については、学校給食栄養報告書を見ると足りていないと思われるが、今後も食生活改善グループ等を通じて健康な食事を推進していく。

鹿島市民の食について

質問二 鹿島市民の健康維持と環境保全のため米消費拡大を図りたいが、朝食摂取のデータはあるか。また和食は世界的に評価されているが、鹿島の伝統食をまとめたものはあるか。最後に、食品のミネラル不足の実態は？

答弁二 食をめぐる問題は鹿島市にとっても大変重要で、特に子どもの豊かな成長には欠かせない。朝食の実態については、子供のアンケートによるとほとんどの子どもが朝



一般質問

地方創生・第六次総合計画が目指す農業振興について



中村和典 議員

質問一 昨年11月国において、米の生産調整や経営所得安定政策の見直しを示されたがその内容が

答弁一 平成30年産を目的に、行政による生産数量目標の配分は行わないので、生産者自らが経営判断や販売戦略に基づいて需要に応じた生産を行う。また、米の直接支払交付金は、平成26年産から単価を10アール当たり15000円から7500円に半減し、平成30年産からは廃止し0円となる。

質問二 水田農家は、今後米価は大きく下落し、稲作経営は継続できるのか、担い手の確保に支障が出るのではといった不安の声が大きい。水田農業の今後の振興方針は、

答弁二 市・農協・生産組合・共済組合・土地改良区等で構成する鹿島市農業再生協議会において水田フル活用ビジョンを作成して農家への支援を行っている。

質問三 水田農業を支える今後の担い手の育成方針は。

答弁三 集落営農組織の強化や集落営農組織から農業生産法人への移行へ取り組んで行く。

質問四 農業が職業として選択しうる魅力とやりがいのあるものとなるよう農業経営基盤強化の中で、経営目標が定められているが、青年農業者等に対する目標は。

答弁四 青年等については、経営開始から五年後の目標として、1人当たり労働時間2000時間、年間農業所得250万円程度を設定している。

質問五 鹿島のみどりの大地の中で農林業に打ち

込む新規就農者や定年帰農者等を県内外から誘致する施策や県が行うトレーニングファームの誘致の考えは。

答弁五 土地や技術力は備わっているのですが、もうける農業塾等の設置を検討したい。



市民所得向上を目指す産業振興



稲富雅和 議員

質問一 これまでの「農商工連携推進室」から「産業支援課」と課の名称を変更されました。

どのような思いを込めているのか、何を指しているのか、今後の取り組みを含め伺います。

答弁一 平成23年に「農商工連携推進室」としてスタートし6次産業化へ向けた取組、農商工連携へ向けた支援等、現場主義を基本に事業を遂行してきた。5年目に突入した本年度、国内外の流通や新たな産業の創出、産業界の連携などの業務の明確化を図りこれらを対外的に示すため室から課となり新たなスタートを切った。今後国内外の流通や市

内異業種間の連携、多種多様な人材交流など、これまで市が取組んでこなかった分野に積極的にチャレンジしている部署であり、その基礎を作り上げることで、成果が形となって表れるには時間がかかるものの、継続して取り組んでいき九州・佐賀の鹿島をしっかりと内外に周知する事が重要と考えられる。6次産業化へ向けた取組み支援としては、現在市内に6次産業化法の認定を受けた事業者が2件あり新たな加工や販路開拓

に取りくまれていた。こうした思いを持つ1次産業者は他にもおられ、こうした方々を発掘し、様々な面からサポートし後押ししていきたい。

さらに鹿島ならではの独自性優れた商品を国内外にPRし肥前鹿島を全国に知ってもらうため「鹿島ブランドプロジェクト」も始動、これらの運営も産業連携活性化協議会が担いブランドデザインを使った産業活性化に取り組む。また海外においても市内農産物の販路開拓の兆しがあり、こうした海外販路開拓にも、今後さらに力を入れて行くこととしている。



市が開発したドレッシング

鹿島市が直面している政策課題について



松田義太議員

報道等でご承知の通り、少子化等の様々な要因により、本格的な人口減少の時代に突入し、鹿島市を取りまく現状も厳しい状況下にある。そこで今回、直面する政策課題について、検証及び現状確認の意味で質問する。

質問一 有明海沿岸道路 福富鹿島道路の進捗状況は

答弁一 現在、「佐賀福富道路」が平成30年度完成に向け工事が進んでいる。「福富鹿島道路」については、延長約9.0kmの道路であり、平成26年度末に環境影響評価の手続きが完了しており、今年度から事業化に向けた現地調査や測量などに着手する事になっている。

一般質問

質問二 今後、福富鹿島道路早期着工に向けてのハードルは？

答弁二 早期着工に向けては、予算の確保がハードルであり、今後、国・県及び関係機関へのより一層の働きかけを強め、早期着工に努力したい。

質問三 新幹線が開通すれば、特急本数が大幅に減り、鹿島市唯一の高速交通体系は著しく低下する。今後、鹿島を佐賀県内の陸の孤島にさせないためにも、有明海沿岸道路整備は鹿島の生命線と考える。1日も早い道筋をつけるために全力で取り組んでもらいたい。

質問四 鹿島市が取り組む大型事業の方向性についてお伺いする。鹿島市

新鹿島市民会館建設の計画について

鹿島市が取り組む大型事業の方向性についてお伺いする。鹿島市

鹿島市が取り組む大型事業の方向性についてお伺いする。鹿島市

鹿島市が取り組む大型事業の方向性についてお伺いする。鹿島市

鹿島市が取り組む大型事業の方向性についてお伺いする。鹿島市

鹿島市が取り組む大型事業の方向性についてお伺いする。鹿島市

民会館建設の計画はどうなっているのか？

答弁四 昨年度「市民会館建設検討委員会」で9回にわたり議論を重ね、新鹿島市民会館(仮称)建設基本構想・基本計画の提言を頂いた。

質問五 建設の事業規模は？

答弁五 概算だが、解体費約3億、建設費約30億を見込んでいる。

質問六 私見として、将来的市の敗政、人口減少を考慮すれば過度の投資は慎重であるべきと考える。例えば市民会館を新設するのではなく、生涯学習センターの大ホールを増設すると捉え最小限の投資で抑える事を検討してもらいたい。

答弁六 様々な検討をしていきました

様々な検討をしていきました

様々な検討をしていきました

様々な検討をしていきました

様々な検討をしていきました

様々な検討をしていきました



少子高齢化、人口3万人割れの今!!



松本末治議員

質問一 今後の鹿島市の人口目標は？

答弁一 第五次総合計画平成27年人口31000人とし、定住促進施策を積極的に行って来たが、今日29500数十名ということになった。市長のご感想をお伺いしたい。

質問二 高齢者社会での少子化対策は？

答弁二 鹿島市独自の施策は少子化対策が目玉である。

①子供の医療費助成で、小学生・中学生の入院通院を単独で助成している。

②放課後児童クラブは、昨年音成分校に開設し、市内7小学校2分校全て開設40%以上がクラブを利用している。

③子育て支援センター市民交流プラザ「かたらい」を併設、月平均1500人利用、土日は200人以上の日もある。

④保育料の軽減措置

⑤不妊治療への助成、乳幼児健やか成長相談事業

質問三 一次産業従事者と後継者問題の対策

答弁三 昭和50年農業者数5236名、平成22年1639名。3分の1に減少、漁業者747名が282名と37.0%と漁業も従事者数は

3分の1ほどに減少している。近年農作物の価格低迷、営農条件の不便さ、漁業は、環境変化に伴い、ノリ養殖の不振と後継者不足状況を感じている。

かたらいオープン



かたらいオープン



文教厚生産業委員会 委員長報告

去る6月19日、本会議において文教厚生産業委員会に付託された請願第1号「教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する請願」について、同委員会を6月22日に開催し、紹介議員及び提出者の出席を求め、提出者の説明後、質疑応答を行い、請願第1号について、討論、採決の結果、起立全員で請願第1号は採択することに決しました。

意見書第1号

教育予算の拡充を求める意見書

2011年度政府予算の成立によって、小学校1年生の35人以下学級を実現するために必要な改正義務標準法が施行されることとなった。今回の義務標準法改正条文の附則には、公立の小学校2年生から中学校3年生までの学級編制標準を順次に改定することと、その他の措置を講ずることについて検討を行うことが求められており、それらに必要な安定した財源の確保に努めることも明記されている。このことから、今後、全学年における35人以下学級を早急に、着実に実行することは、国としての大きな責務であると考えます。

また、子どもたちが全国どこに住んでいても、どのような環境に育っていても、一定水準の教育を受けられるという、「教育の機会均等」は憲法・教育基本法にも謳われた自明の権利である。しかしながら、我が国のGDPに占める教育費公財政支出の割合は、OECD加盟国（34ヶ国）の中において最下位であり、教育に対する公財政支出が国際的にも低いと言わざるを得ない。地方自治体財政においても義務教育費国庫負担制度の国負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられたことで、多くの地方自治体が財政的な圧迫・制約を受け、自治体間格差の広がりが懸念されていることは言うまでもない。

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要であり、未来への先行投資として、子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・就業の拡大につなげる必要があることから、下記の事項について強く要望する。

記

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年6月30日

佐賀県鹿島市議会

内閣総理大臣	安倍	晋三	様
衆議院議長	大島	理森	様
参議院議長	山崎	正昭	様
総務大臣	高市	早苗	様
財務大臣	麻生	太郎	様
文部科学大臣	下村	博文	様

就任あいさつ

第1回臨時会

新しい議会体制でスタート

議長に松尾勝利氏、副議長に光武学氏

5月臨時会で正副議長をはじめ、議会運営委員会委員、常任委員会委員等を選任しました。

議長就任挨拶



議長 松尾勝利

この度、鹿島市議会議長に再度ご推挙をいただき、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

現在、国から「地方創生」の施策が示され、鹿島市におきましてもその策定に向けて協議がなされています。人口減少が進む中でこの鹿島市をどのように活性化させていくのかが問われています。

また、同時に今年度はまちづくりの最上位の計画である第六次総合計画が策定され、来年度から5年間の鹿島市が進む方向性が示されます。議会としても今期はより一層重要なときであると考えています。私たちは、市民の代弁者であり、その役割や使命をしっかり認識して市民の皆様が次世代に夢・誇り・安心の魅力ある鹿島市を引き継ぐという思いに込められるよう誠心誠意行動してまいります。今後引き続き、議会に対する市民の皆様のご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

副議長就任挨拶



副議長 光武学

5月に開催された市議会臨時会におきまして、議員各位から副議長のご推挙を賜り、誠に身に余る光栄であり、その責任の重さに身が引き締まる思いであります。議員の役割は市民の目線で行政をチェックすることだと思えます。

今後は、副議長の職務を遂行し、議長の補佐役として、市政の推進と議会の公正かつ円滑な運営に努めてまいります。

加速する人口減少に歯止めをかけ、第六次総合計画と地方創生をどう結び付けるか、独創的な思考と行動力が試されるときであります。鹿島市の発展のため、市民の皆様の声を市政に反映できるような場作りをしてまいります。今後ともご指導、ご協力をお願い申し上げます。



議会運営委員会

- ◎委員長 福井 正
- 副委員長 松本 末治
- 委員 伊東 茂 角田 一美
- 勝屋 弘貞 稲富 雅和

会期日程、議事日程等議会運営に関する事項及び議長の諮問事項等を審議します。

【 常 任 委 員 会 】

総務建設環境委員会 (8名)



◎委員長	伊東 茂		
○副委員長	勝屋 弘貞		
委 員	片瀨清次郎	樋口 作二	
	中村 一堯	稲富 雅和	
	松尾 征子	光武 学	

市政一般、企画・防災、公共施設・道路施設、ごみ処理・公共下水道等に関する事務の調査、及び議案、請願、陳情等の審査を行います。

文教厚生産業委員会 (8名)



◎委員長	角田 一美		
○副委員長	中村 和典		
委 員	杉原 元博	松田 義太	
	松本 末治	徳村 博紀	
	福井 正	松尾 勝利	

教育、福祉厚生、保険健康、産業、経済に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。

【 特 別 委 員 会 】

地方創生対策特別委員会 (7名)



◎委員長	稲富 雅和		
○副委員長	中村 一堯		
委 員	杉原 元博	樋口 作二	
	角田 一美	松本 末治	
	福井 正		

地方人口ビジョン・地方創生総合戦略等に関する諮問等の調査・研究を行います。

まちづくり推進構想対策特別委員会 (7名)



◎委員長	徳村 博紀		
○副委員長	勝屋 弘貞		
委 員	片瀨清次郎	中村 和典	
	松田 義太	伊東 茂	
	松尾 征子		

様々な公共施設の再整備（市民会館、JR肥前鹿島駅周辺の整備等）に関する諸問題の調査・研究を行います。

鹿島市議会運営等改革検討会（平成27年6月）が発足しました。

平成22年に制定した鹿島市議会基本条例に基づき、議会改革に継続的に取り組むため「議会運営等改革検討会」を設置し、下記3つのプロジェクトチームを発足させ、議員自ら議会改革を行う体制を整えました。

鹿島市議会運営等改革検討会

会長：松尾議長

副会長：光武副議長

議会報告会プロジェクト (6名)

【課題】

- ①組織体制
- ②日程等開催内容等

- ◎ 伊東議員
- 松田議員
- 杉原議員
- 松本議員
- 松尾征子議員
- 松尾議長

議場開放・ICT プロジェクト(5名)

【課題】

- ①子ども議会
- ②女性議会の開催
- ③ICTを使った広報広聴

- ◎ 福井議員
- 樋口議員
- 片淵議員
- 稲富議員
- 勝屋議員

議会だよりプロジェクト (5名)

【課題】

- ①正式な会議としての位置付け
- ②地方自治法の協議の場等

- ◎ 角田議員
- 中村一堯議員
- 中村和典議員
- 徳村議員
- 光武副議長

◎チーム長 ○副チーム長

鹿島市議会運営委員会

鹿島市議長

●議会選出各種委員・議員

名称	選出人数	委員・議員		任期
監査委員	1	松田義太	—	H31. 4.29
杵藤地区広域市町村圏組合議会議員	2	松尾勝利	徳村博紀	H31. 4.29
鹿島・藤津地区衛生施設組合議会議員	4	中村一堯	稲富雅和	H31. 4.29
		勝屋弘貞	松尾征子	
佐賀県後期高齢者医療広域連合議会議員	1	角田一美	—	H31. 4.29
佐賀県西部広域環境組合議会議員	2	光武学	福井正	H31. 4.29

議会あれこれ

(平成27年4月～6月)

4月

- 1日 議会だより編集委員会
- 6日 議会だより編集委員会
- 8日 議会だより編集委員会
- 26日 市議会議員選挙投票日

5月

- 1日 議員代表者会
新任議員説明会
- 11日 5月臨時会 開会 (～13日まで)
全員協議会
- 12日 議会運営委員会
全員協議会
- 13日 議案審議、採決 閉会
全員協議会
- 20日 新任議員研修
- 22日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会5月臨時会
議会運営委員会
- 26日 佐賀県市議会議長会
- 29日 佐賀県西部広域環境組合議会議員協議会

6月

- 3日 全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 4日 九州市議会議長会
- 9日 議会運営委員会
- 12日 市議会6月定例会 開会 (～30日まで)
全員協議会
- 16日 佐賀県市議会議長会臨時議長会

6月

- 17日 全国市議会議長会
- 19日 6月定例会 議案審議、討論、採決
- 22日 文教厚生産業委員会
地方創生対策特別委員会
- 24日 6月定例会 一般質問 (～26日まで)
全員協議会
- 29日 まちづくり推進構想対策特別委員会
- 30日 6月定例会 委員長報告、採決 閉会
議会運営委員会

行政視察受入状況

(平成27年4月～6月)

5月 25日 嬉野市議会

5月 28日 宮城県富谷町議会

議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	4月		5月		6月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰								
見舞い								
祝儀	1	3,000					1	3,000
会費			2	10,000	1	2,000	3	12,000
接遇								
その他								
合計	1	3,000	2	10,000	1	2,000	4	15,000

編集後記

4月の改選で4名の議員が交替、5月の臨時会で委員会等構成も決まり議会だより編集委員も交替、私達が担当致します。

よりよい紙面作りに努力しますので宜しく願致します。

人口減少問題への対応、アイデアを競い合い各市・町で予算分捕り合戦、待った無しの地方創生事業がスタート致しました。

我々議員も議会改革に真剣に取り組む、市民の負託に十分に応えることができるよう心新たにしております。

【編集委員】

委員長 角田 一美
副委員長 松田 義太
委員 福井 正
委員 杉原 元博
顧問 光武 学

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。

